



古河瓦版

株式会社 古河

TEL: 03-3623-7176

FAX: 03-3624-4401

○発刊にあたって

ペーパーレスと言われて久しいですが、そのような今こそ『紙とクロスを未来にまで残すこと』が私たち株式会社古河の存在意義だと考えています。そのために古きを守りながら、新しい紙とクロスの価値を作りだしていくことを目指してまいります。

ぜひこのニュースレターを通じ、長年お世話になっている皆様により親しみを持って頂き、一緒に新しい価値を創造していければと願っております。



代表取締役社長 飛田智弘

○こちら古河営業部

(株)古河では毎年2月にビックサイトで開催されるギフトショーに出展しています。今年は創業当時から販売している伝票の背クロスや見返しに使われている製本マーブル紙を「もっと多くの人に広めたい」という想いで企画した「便箋」や「ぼち袋」等のステーショナリーを展示し大好評を頂きました。これら商品の2016年度版新カタログも完成して持ち歩いておりますので、是非お声掛け下さい。

ちなみにこのマーブルは日本語では「大理石」の意味で、その模様や色ムラに由来し、諸説あるようですが帳簿から一部を抜き取ると模様が繋がって見えなくなるため、偽造防止のために使われ始めたらしいです。ご存知でしたか？ (荒牧龍也)

マーブル紙の水のりつき
ペーパーテープ

○断裁所の断ち話

断裁に関連する作業の一つに「巻返し」があります。一言でいうと「巻グセを取る」ことです。巻いてあるカレンダーを壁に掛ける時のことをイメージすると分かりやすいと思います。なぜ必要なのかというと、平判にカットしやすくすること、断裁後の「反り」をなくすためにとっても重要な工程なのです。この工程を他の社員も出来るように、遠藤工場長の下で日々訓練に励んでいます。製品によっては巻グセが強いものもあれば、滑りやすい等あるので、各人苦労しています。(※最後の仕上げは必ず工場長が行いますのでご安心下さい) 工場長の合格点が出るのはいつなのか・・・(古河英徳)



巻返しの様子

編集後記

最後までお読み頂きありがとうございます！これから(株)古河の事やお役立ち情報等を発信していきますのでご期待ください。さて、弊社は紙屋、クロス屋というイメージが強いと思いますが、実は加工に使う部品も扱っています。「セラミックドリル」を扱っているかというお問い合わせをいただくこともあります。ちょっと意外かもしれませんが、探し物がありましたら是非お問い合わせください。(飯塚大輔)

詳しいことは弊社ホームページでもご覧頂けます。<http://furukawa21.jp>